

景況れぼうと すみだ119

目 次

1	区内中小企業の業況	……1
2	区内製造業の業況	……2
3	区内卸売業の業況	……4
4	区内小売業の業況	……5
5	区内サービス業の業況	……6
6	区内建設業の業況	……7
7	区内不動産業の業況	……8
8	特別調査	……9

◇調査対象とした区内事業所数と回収状況

	調査数	回収数
製造業	217	214
卸売業	64	63
小売業	70	65
サービス業	31	30
建設業	12	12
不動産業	20	20
合計	414	404

※未回収の理由

倒産・廃業	5
移転・不在	3
調査拒否	1
取引解消	1
休業	0
その他	0

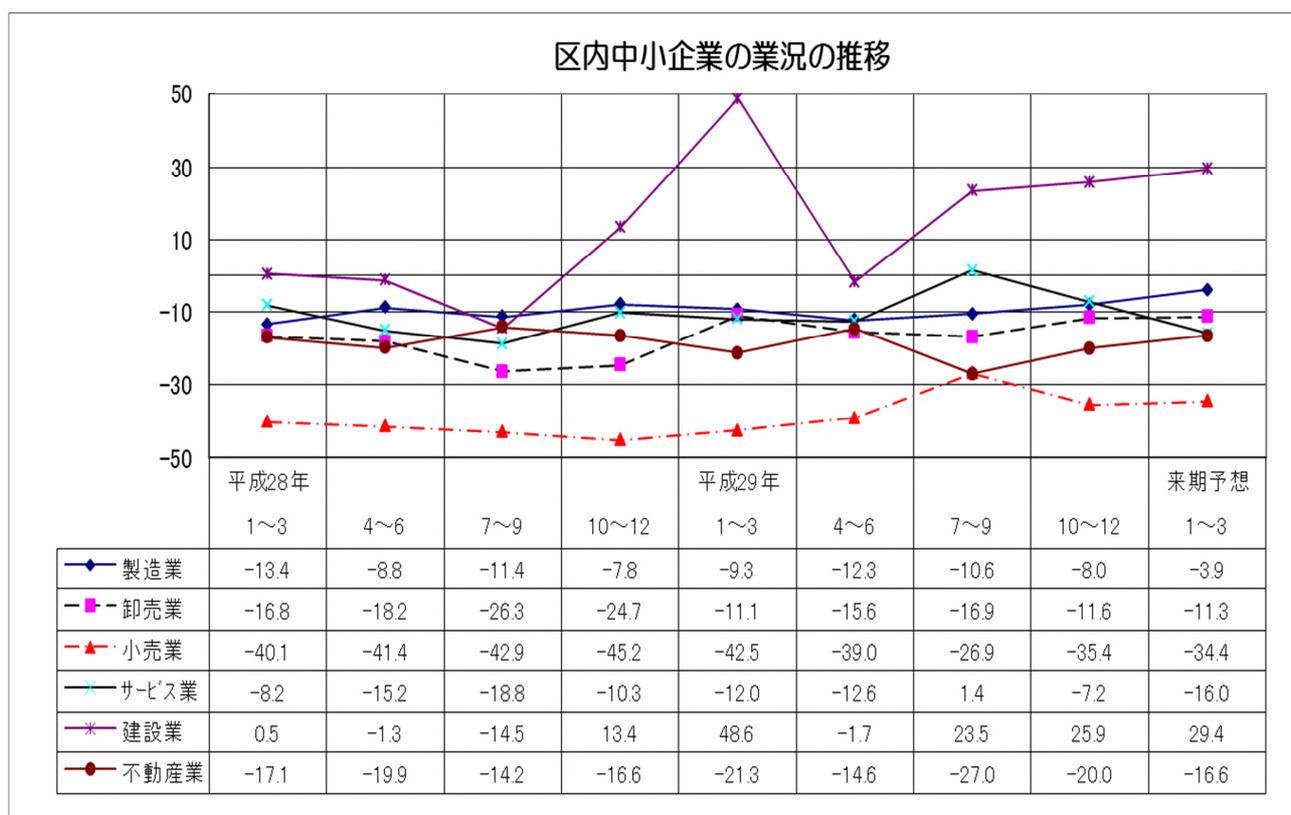
「景況れぼうとすみだ」は、一般社団法人東京都信用金庫協会が区内企業を対象に行った調査資料をもとに、墨田区が編集したものです。

●発行月＝平成30年3月

●発行者＝墨田区産業観光部産業振興課 ☎5608-6186（直通）

●平成29年10月～12月期 【第119号】

1 区内中小企業の業況



平成29年10月～12月期の区内中小企業の業況は、建設業はやや良好感が強まった。製造業及び卸売業はやや悪化幅が縮小し、不動産業は水面下ながら大きく改善した。小売業は大幅に業況感が落込んだ。サービス業は前期においてプラスに転じたが、今期は再び悪化に転じた。

業種別に見ると、製造業は前期に比べ悪化幅がやや縮小し、わずかに厳しさが和らいだ。来期の業況においても、悪化幅がやや縮小することが予想される。

卸売業も、前期に比べ悪化幅がやや縮小し、わずかに厳しさが和らいだ。来期においては、今期並の悪化幅で推移することが予想される。

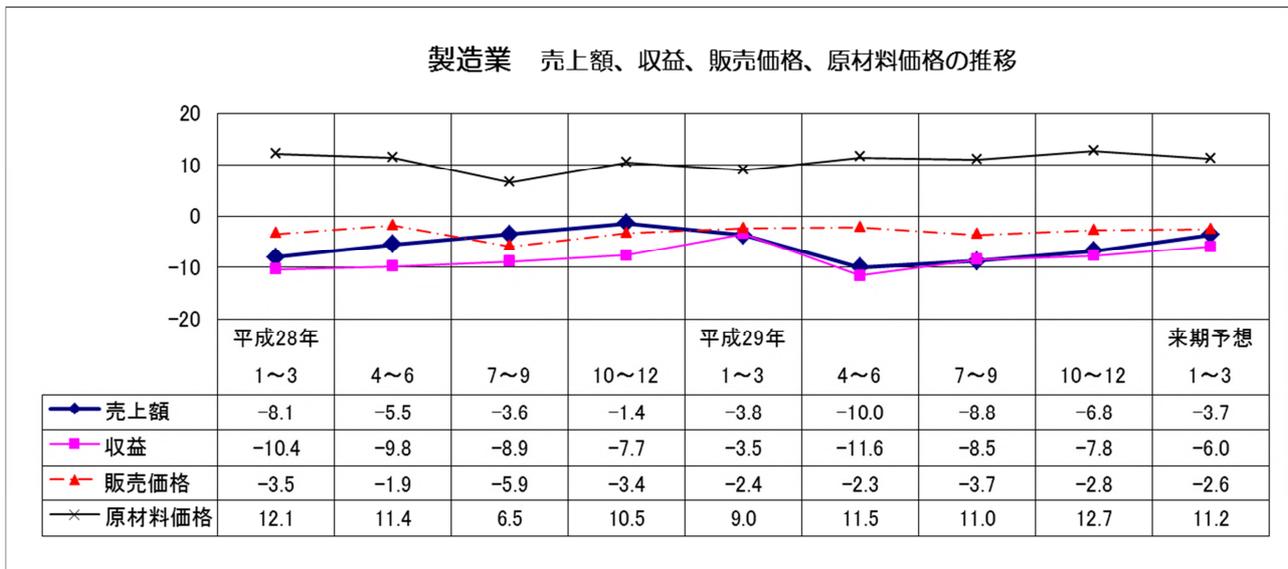
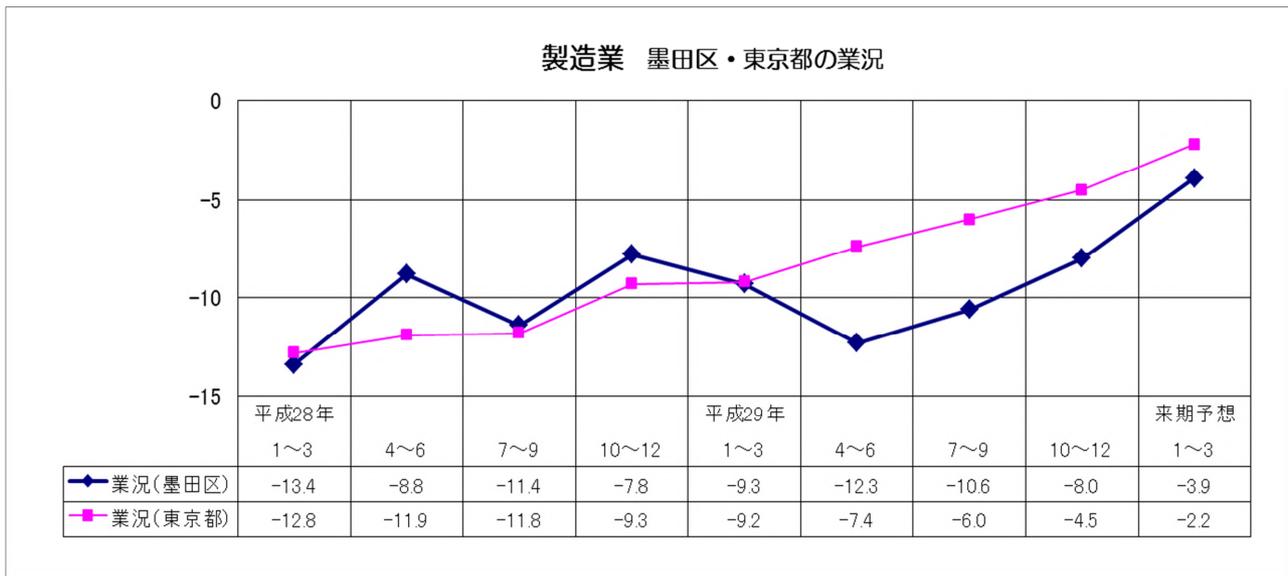
小売業においては、良化の兆しが見え始めていたものの、今期は再び悪化傾向を強めて推移した。来期においても、今期同様の厳しさが続くことが予想される。

サービス業は前期においてプラスに転じたが、今期は再び悪化に転じた。来期においても、減少傾向を強めて推移し、不振の度を増す厳しい状況が続くことが予想される。

建設業においては、前期に比べやや良好感が強まり、来期においても、わずかながらも良好感が強まることが予想される。

不動産業は、前期において大きく業況感が落込んだが、今期は大きく持ち直した。来期においても、幾分厳しさが和らぐことが予想される。

2 区内製造業の業況

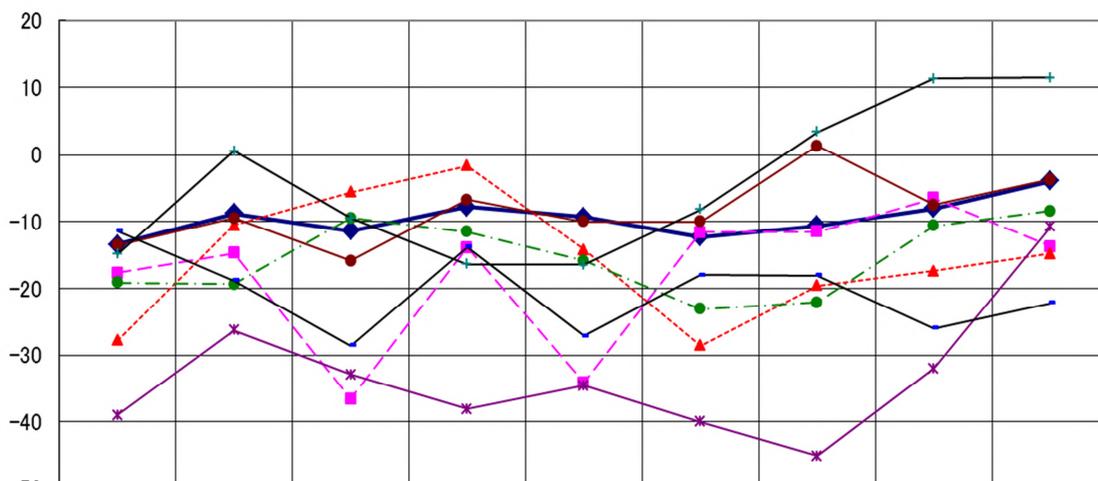


区内製造業の今期業況は、前期に比べ悪化幅がやや縮小し、わずかに厳しさが和らいだ。来期の業況においても、悪化幅がやや縮小することが予想される。傾向としては、都内製造業に比べ依然としてやや低い水準にある。

今期の売上額はわずかに改善し、収益は前期並の減少が続いた。原材料価格は、前期並の上昇が続き、販売価格もほぼ横這いで推移した。

全体的な傾向としては、来期の売上額はわずかに減少幅が縮小し、収益は今期同様の減少幅で推移することが予想される。原材料価格は今期並の上昇が続き、販売価格も変動なく推移することが予想される。

製造業 業種別業況の推移

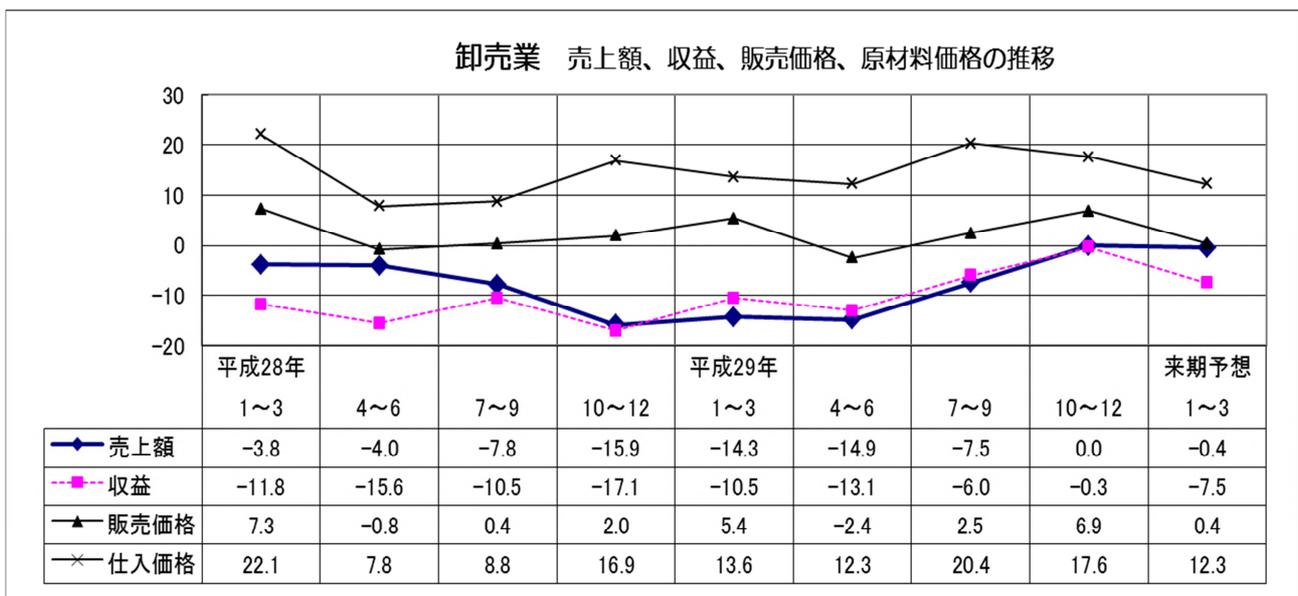
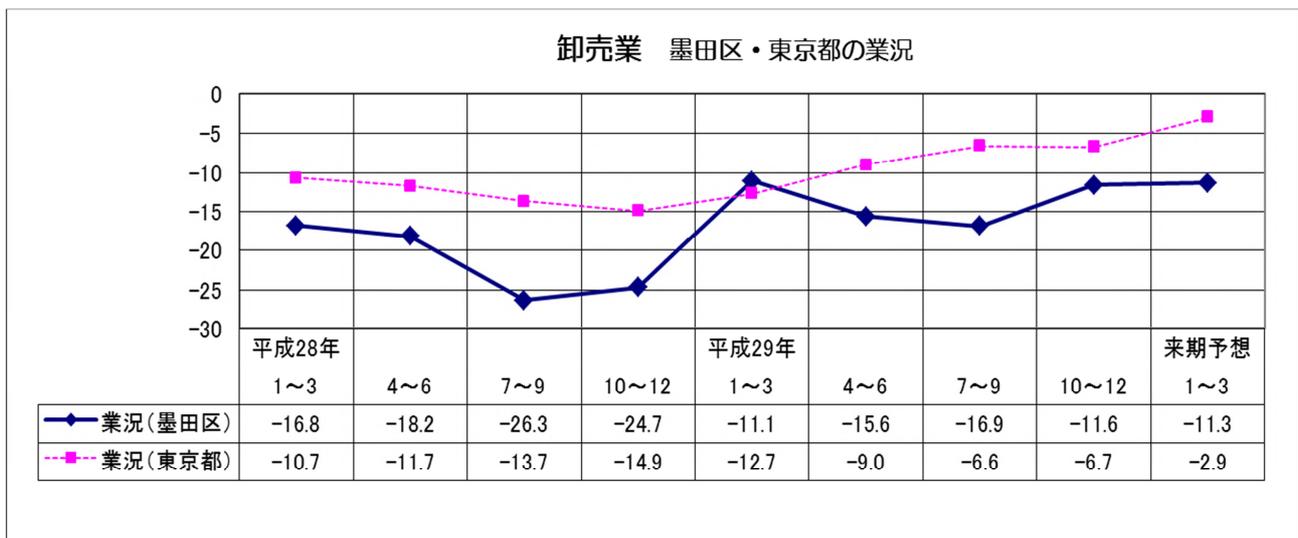


	平成28年				平成29年				来期予想
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
◆ 製造業	-13.4	-8.8	-11.4	-7.8	-9.3	-12.3	-10.6	-8.0	-3.9
■ 繊維	-17.7	-14.7	-36.6	-13.9	-34.1	-11.6	-11.5	-6.5	-13.7
▲ 紙	-27.8	-10.5	-5.6	-1.6	-14.2	-28.6	-19.6	-17.4	-14.8
● 印刷	-19.1	-19.4	-9.5	-11.5	-15.9	-23.1	-22.1	-10.6	-8.4
* 皮	-39.0	-26.3	-32.9	-38.1	-34.6	-40.0	-45.1	-32.0	-10.8
● 金属	-13.5	-9.5	-15.9	-6.7	-10.0	-10.0	1.3	-7.5	-3.7
+ 機械	-14.9	0.6	-9.5	-16.4	-16.5	-8.2	3.4	11.2	11.4
— プラスチック	-11.4	-18.8	-28.6	-13.8	-27.1	-18.0	-18.1	-26.0	-22.2

区内製造業の業況を業種別に見ると、機械(一般機械器具、金型)は徐々に増加傾向を強め、回復基調をたどっている。印刷(出版、印刷、製版、製本業)及び皮(なめし皮・同製品・毛皮)は悪化傾向のピークが過ぎ、減少傾向は徐々に改善してきている。繊維(繊維工業、衣服・その他繊維製品)、紙(パルプ・紙、紙加工品)はわずかに悪化幅が縮小した。プラスチック(プラスチック製品)においては、悪化幅が大幅に拡大した。金属(金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業)は前期においてプラスに転じたが、今期は再び水面下に落込んだ。

来期において、機械(一般機械器具、金型)は今期並の良好感が続き、皮(なめし皮・同製品・毛皮)は減少傾向ながらも徐々にその度合は縮小し、良化の兆しが見えてくることが予想される。紙(パルプ・紙、紙加工品)、印刷(出版、印刷、製版、製本業)、金属(金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業)及びプラスチック(プラスチック製品)はわずかに厳しさが和らぐことが予想される。一方、繊維(繊維工業、衣服・その他繊維製品)においては、再び悪化傾向を強めて推移することが予想される。

3 区内卸売業の業況

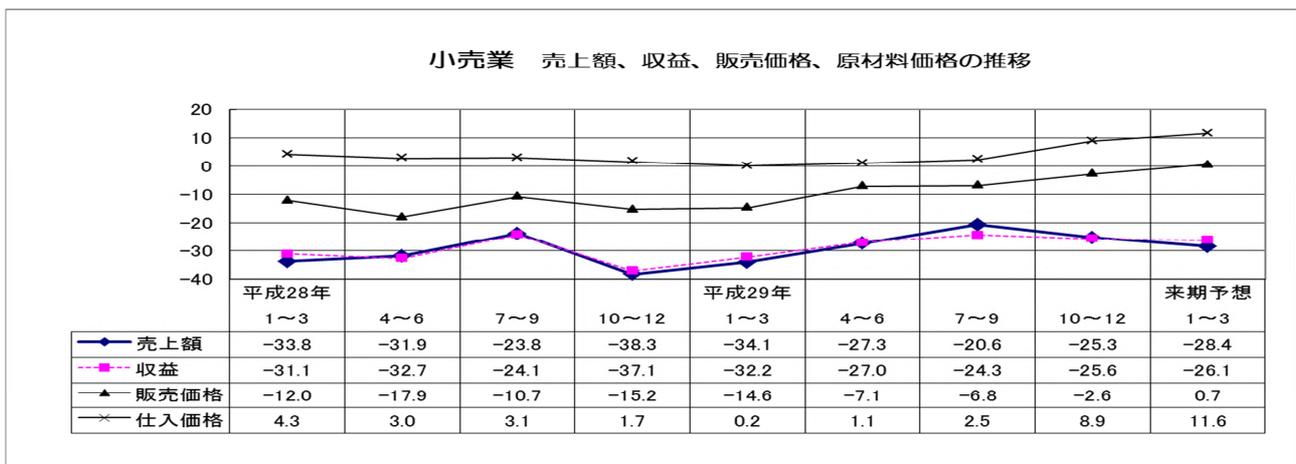
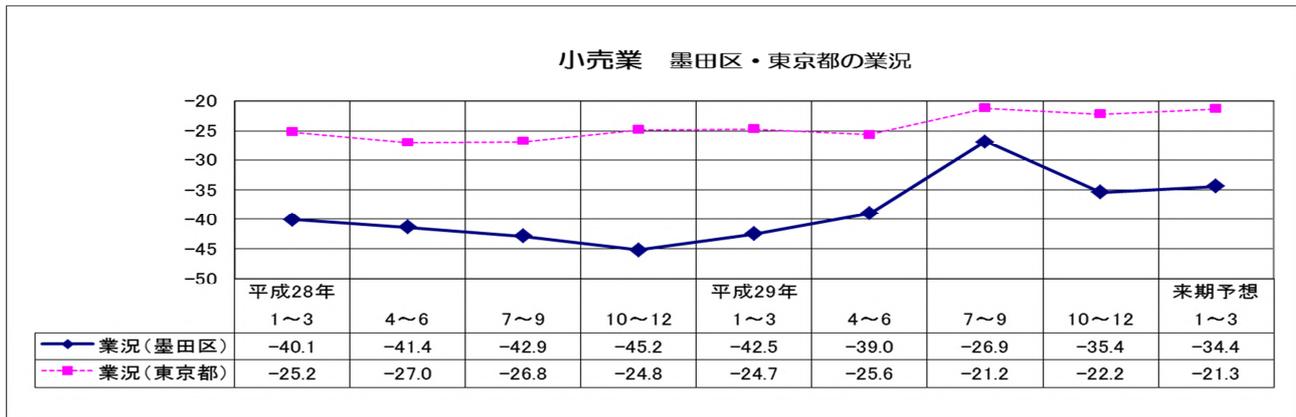


区内卸売業の今期業況は、前期に比べ悪化幅がやや縮小し、わずかに厳しさが和らいだ。来期においては、今期並の悪化幅で推移することが予想される。傾向としては、都内卸売業に比べ低い水準にある。

今期の売上額は大きく減少幅が縮小し、収益は大きく減益幅が縮小した。仕入価格はわずかに上昇が弱まり落ち着きを見せ、販売価格はやや上昇が強まった。

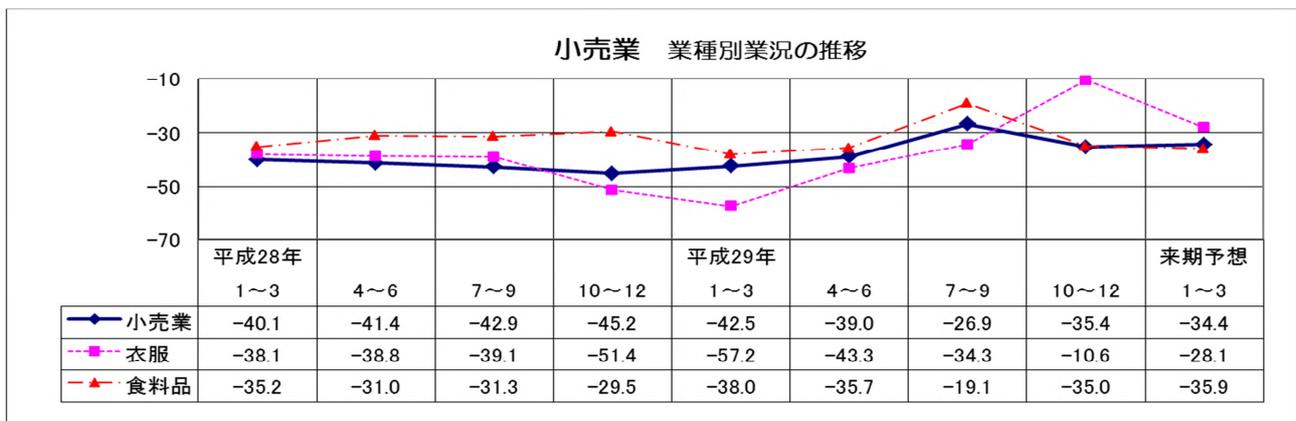
全体的な傾向としては、来期の売上額は今期同様の水準で推移するが、収益は減益幅が大幅に拡大することが予想される。仕入価格及び販売価格は幾分上昇が弱まることが予想される。

4 区内小売業の業況



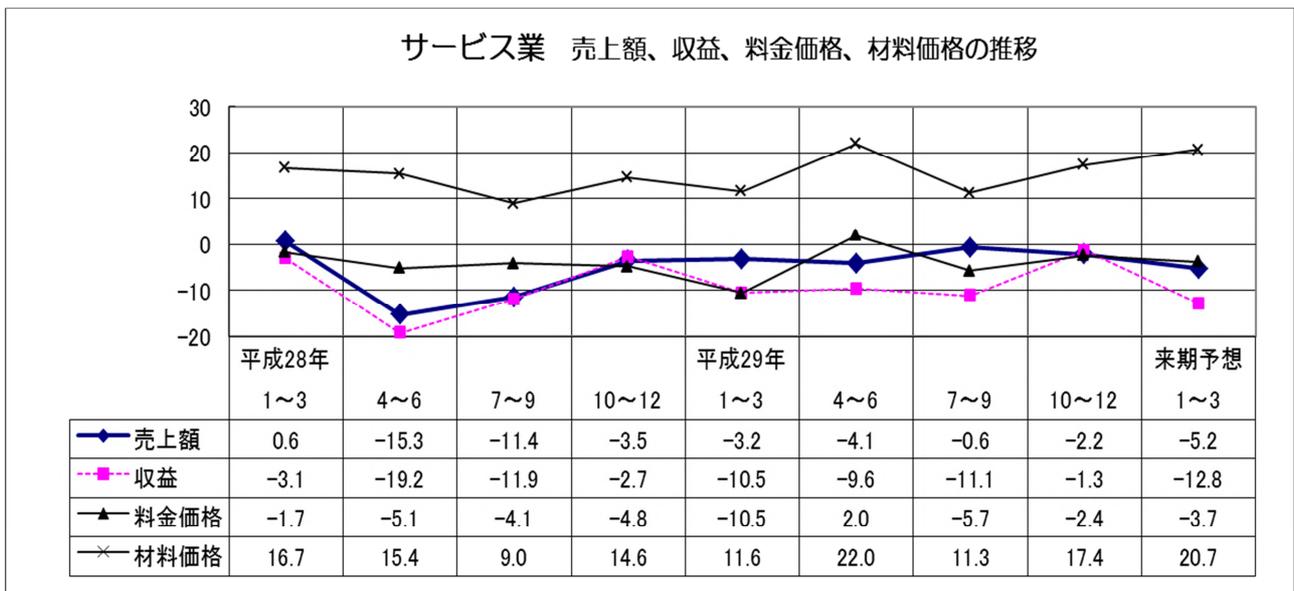
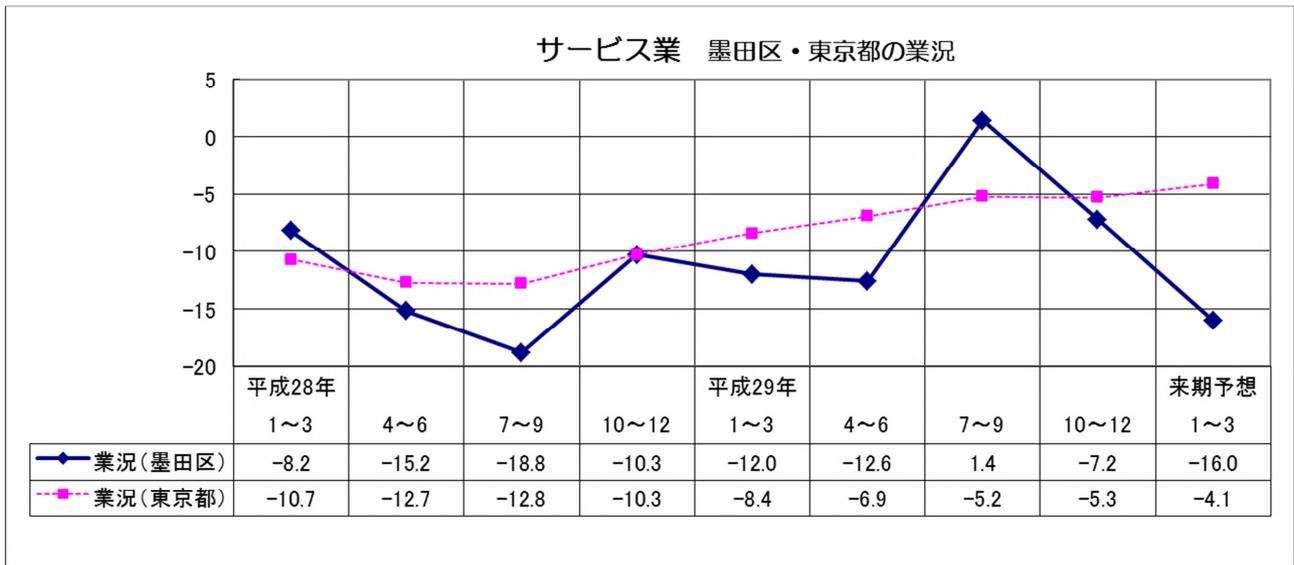
区内小売業の今期業況は、良化の兆しが見え始めていたものの、今期は再び悪化傾向を強めて推移した。来期においても、今期同様の厳しさが続くことが予想される。傾向としては、都内小売業に比べ、低い水準にある。

今期の売上額は減少幅がわずかに拡大し、収益は前期同様の減益幅で推移した。販売価格はやや厳しさが和らぎ、仕入価格は上昇が強まった。来期の売上額は減少幅がやや拡大し、収益は今期同様の減益幅で推移することが予想される。仕入価格はやや上昇が強まり、販売価格は好転することが予想される。



区内小売業の業況を業種別に見ると、衣服（呉服、身の回りの品）は、悪化幅が大幅に縮小したが、来期においては再び悪化傾向を強めて推移することが予想される。食料品（飲食料品）は、前期において悪化幅が大幅に縮小したものの、再び悪化傾向を強めて推移した。来期においても、今期同様の厳しさが続くことが予想される。

5 区内サービス業の業況

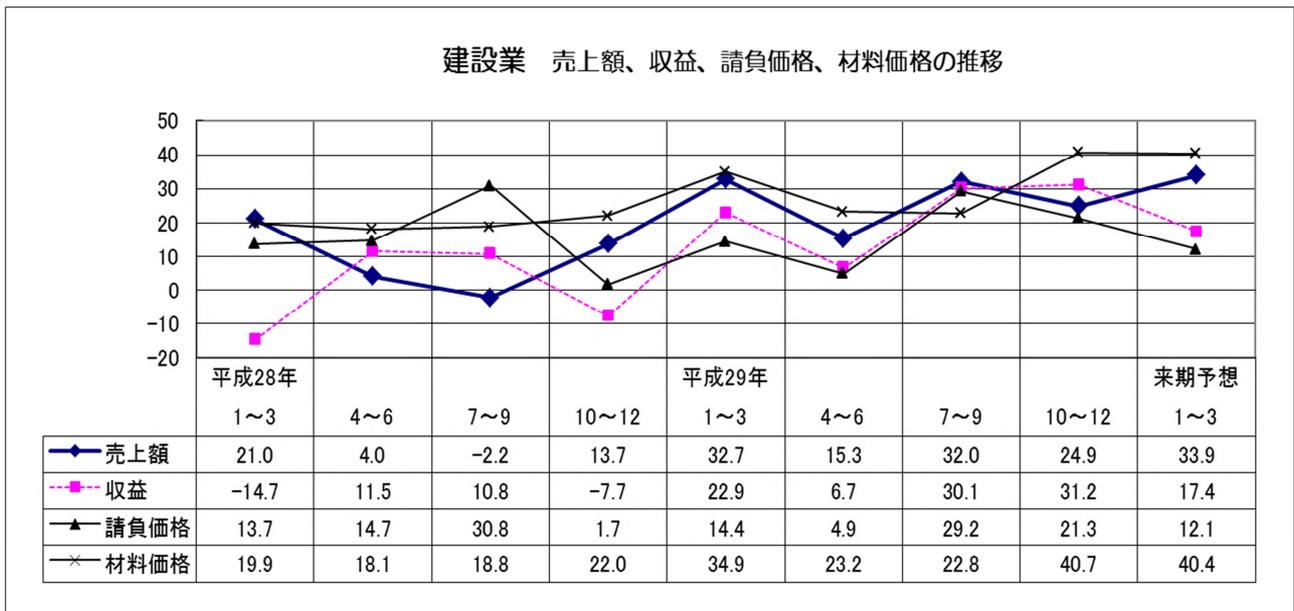
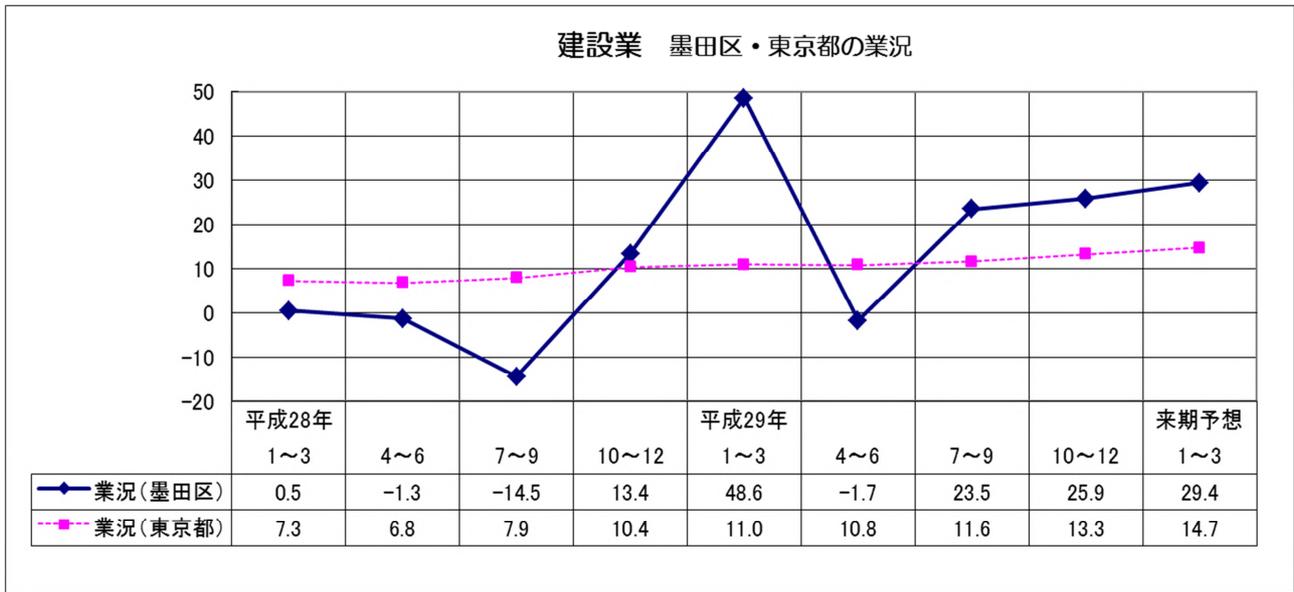


区内サービス業の業況は、前期においてプラスに転じたが、今期は再び悪化に転じた。来期においても、減少傾向を強めて推移し、不振の度を増す厳しい状況が続くことが予想される。傾向としては、前期は都内サービス業に比べ高い水準にあったが、今期は都内サービス業に比べ、落込んだ。来期は都内サービス業に比べて大きく落ち込むことが予想される。

今期の売上額は前期並で推移し、収益はかなり改善した。材料価格はかなり上昇が強まり、料金価格はやや厳しさが和らいだ。

全体的な傾向として、来期の売上額はやや減少幅が拡大し、収益は減益幅が大幅に拡大することが予想される。材料価格はやや上昇が強まり、料金価格はほぼ横這いで推移することが予想される。

6 区内建設業の業況

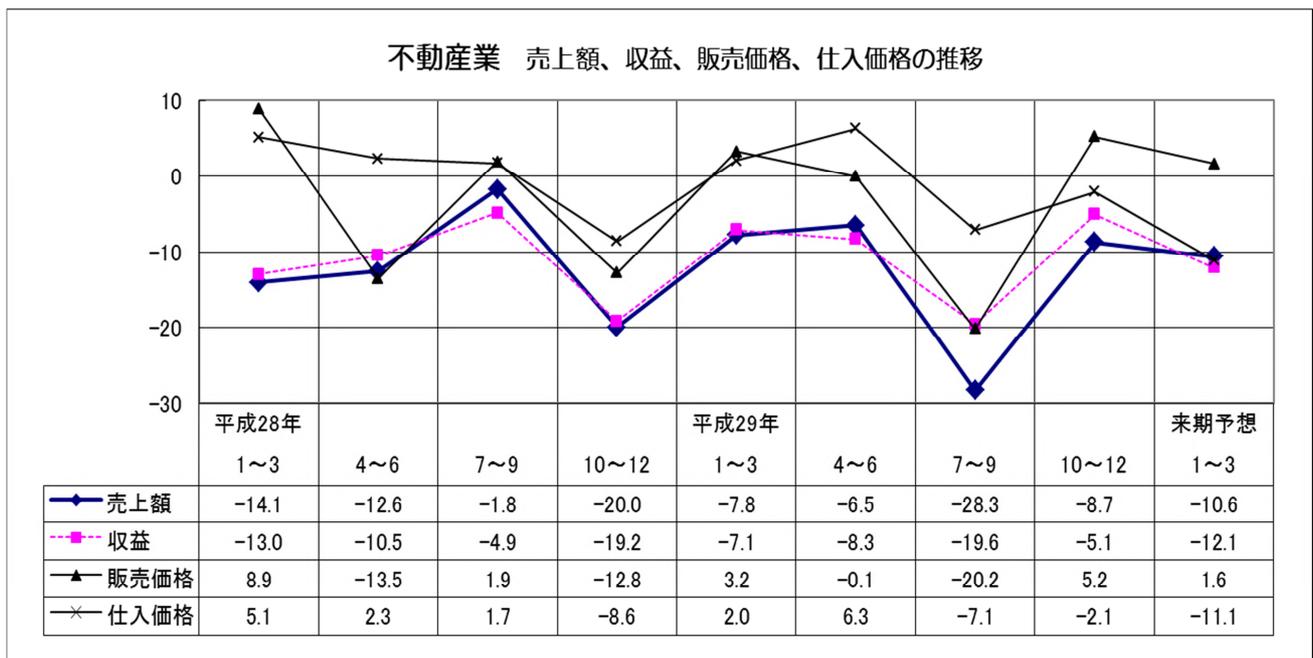
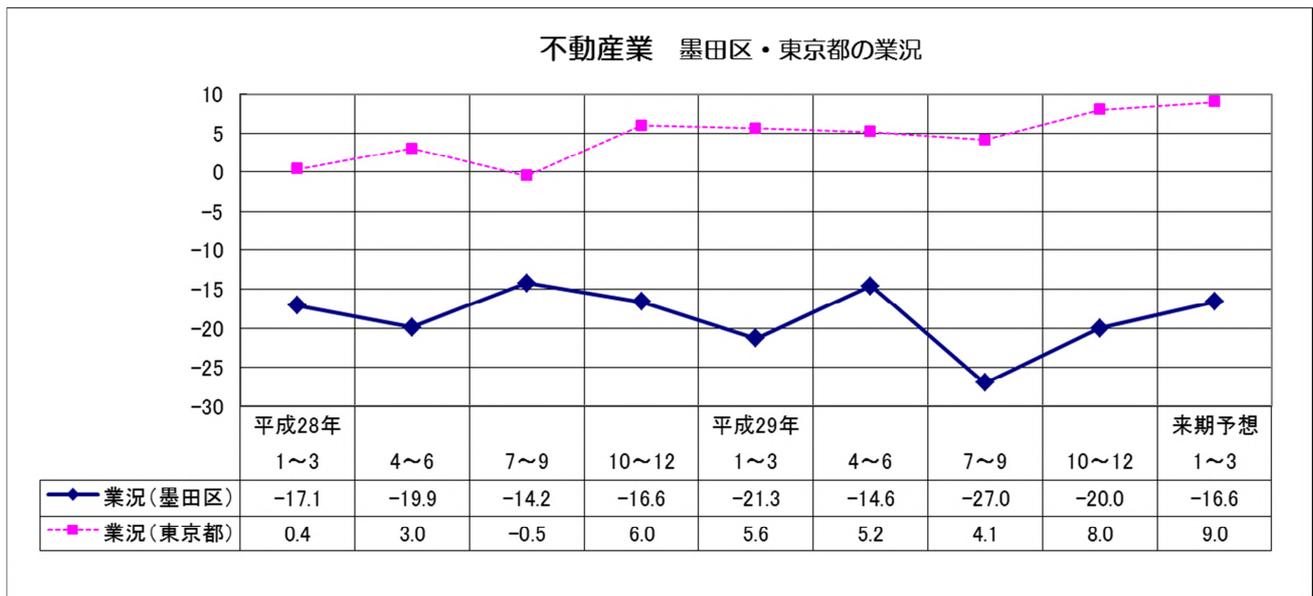


区内建設業の今期業況は、前期に比べやや良好感が強まり、来期においても、わずかながらも良好感が強まることが予想される。傾向としては、都内建設業に比べて、高い水準にある。

今期の売上額は増加傾向が一服・後退したが、収益は前期並の増益となった。材料価格はかなり上昇が強まり、請負価格は大きく上昇が弱まった。

全体の傾向として、来期の売上額は大きく増加幅が拡大するが、収益は大きく増益幅が縮小することが予想される。請負価格はかなり上昇が弱まり、材料価格は今期並の上昇が続くことが予想される。

7 区内不動産業の業況



区内不動産業の今期業況は、前期において大きく業況感が落込んだが、今期は大きく持ち直した。来期においても、幾分厳しさが和らぐことが予想される。傾向としては、都内不動産業に比べ、依然としてかなり低い水準にある。

今期の売上額は非常に大きく減少幅が縮小し、収益は大きく減益幅が縮小した。仕入価格はやや好感にかげりが出て、販売価格は好転した。

全体の傾向として、来期の売上額は今期並の減少が続き、収益は減益幅が大きく拡大することが予想される。販売価格はわずかに上昇が弱まり、仕入価格はさらに低下して好感が強まることが予想される。

8 特別調査（2018年（平成30年）の経営見通し）

平成29年10月～12月期 調査

1. 2018年の景気見通し

	回答数	非常に良い		良い		やや良い		普通		やや悪い		悪い		非常に悪い		
総数	401	0	-	12	3.0	62	15.5	180	44.9	104	25.9	35	8.7	8	2.0	
業種	製造業	212	0	-	6	2.8	38	17.9	93	43.9	54	25.5	20	9.4	1	0.5
	卸売業	63	0	-	1	1.6	11	17.5	26	41.3	18	28.6	5	7.9	2	3.2
	小売業	65	0	-	1	1.5	7	10.8	32	49.2	16	24.6	5	7.7	4	6.2
	サービス業	29	0	-	0	-	1	3.4	16	55.2	7	24.1	5	17.2	0	-
	建設業	12	0	-	4	33.3	2	16.7	4	33.3	2	16.7	0	-	0	-
	不動産業	20	0	-	0	-	3	15.0	9	45.0	7	35.0	0	-	1	5.0

2. 2018年の自社の業況見通し

	回答数	非常に良い		良い		やや良い		普通		やや悪い		悪い		非常に悪い		
総数	401	0	-	11	2.7	49	12.2	197	49.1	102	25.4	33	8.2	9	2.2	
業種	製造業	212	0	-	8	3.8	28	13.2	103	48.6	56	26.4	16	7.5	1	0.5
	卸売業	63	0	-	1	1.6	8	12.7	28	44.4	19	30.2	5	7.9	2	3.2
	小売業	65	0	-	0	-	4	6.2	33	50.8	15	23.1	8	12.3	5	7.7
	サービス業	29	0	-	0	-	2	6.9	18	62.1	5	17.2	4	13.8	0	-
	建設業	12	0	-	2	16.7	5	41.7	5	41.7	0	-	0	-	0	-
	不動産業	20	0	-	0	-	2	10.0	10	50.0	7	35.0	0	-	1	5.0

3. 2018年の売上額伸び率見通し

	回答数	30%以上の増加		20~29%の増加		10~19%の増加		10%未満の増加		変わらない		10%未満の減少		10~19%の減少		20~29%の減少		30%以上の減少		
総数	399	1	0.3	8	2.0	24	6.0	55	13.8	202	50.6	83	20.8	19	4.8	6	1.5	1	0.3	
業種	製造業	210	1	0.5	4	1.9	15	7.1	30	14.3	105	50.0	47	22.4	8	3.8	0	-	0	-
	卸売業	63	0	-	1	1.6	2	3.2	13	20.6	27	42.9	17	27.0	2	3.2	1	1.6	0	-
	小売業	65	0	-	1	1.5	2	3.1	3	4.6	38	58.5	11	16.9	7	10.8	2	3.1	1	1.5
	サービス業	29	0	-	0	-	2	6.9	3	10.3	17	58.6	4	13.8	2	6.9	1	3.4	0	-
	建設業	12	0	-	1	8.3	3	25.0	4	33.3	3	25.0	1	8.3	0	-	0	-	0	-
	不動産業	20	0	-	1	5.0	0	-	2	10.0	12	60.0	3	15.0	0	-	2	10.0	0	-

4. 自社の業況が上向く転換点見通し

	回答数	すでに上向いている		6か月以内		1年後		2年後		3年後		3年超		業況改善の見通しは立たない		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	399	52	13.0	17	4.3	45	11.3	32	8.0	39	9.8	57	14.3	157	39.3	
業種	製造業	211	25	11.8	10	4.7	27	12.8	24	11.4	19	9.0	35	16.6	71	33.6
	卸売業	62	13	21.0	3	4.8	3	4.8	3	4.8	8	12.9	7	11.3	25	40.3
	小売業	65	1	1.5	1	1.5	9	13.8	1	1.5	7	10.8	7	10.8	39	60.0
	サービス業	29	5	17.2	1	3.4	2	6.9	2	6.9	1	3.4	6	20.7	12	41.4
	建設業	12	7	58.3	1	8.3	1	8.3	0	-	2	16.7	0	-	1	8.3
	不動産業	20	1	5.0	1	5.0	3	15.0	2	10.0	2	10.0	2	10.0	9	45.0

5. 景気回復をより実感できる状況

	回答数	企業収益の改善		賃金の上昇		雇用機会の増加		株価・地価の上昇		物価の安定		社会保障の充実		後向きな話題・報道の減少		海外に関するリスクの低減		その他		どのようになっても景気回復を実感できない		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	398	234	58.8	134	33.7	52	13.1	75	18.8	82	20.6	67	16.8	43	10.8	19	4.8	7	1.8	44	11.1	
業種	製造業	212	134	63.2	69	32.5	32	15.1	47	22.2	49	23.1	42	19.8	17	8.0	8	3.8	4	1.9	17	8.0
	卸売業	63	38	60.3	23	36.5	3	4.8	10	15.9	8	12.7	10	15.9	6	9.5	3	4.8	2	3.2	10	15.9
	小売業	65	32	49.2	20	30.8	7	10.8	8	12.3	13	20.0	7	10.8	8	12.3	4	6.2	0	-	11	16.9
	サービス業	28	15	53.6	8	28.6	7	25.0	2	7.1	4	14.3	4	14.3	6	21.4	2	7.1	1	3.6	2	7.1
	建設業	11	6	54.5	7	63.6	1	9.1	2	18.2	3	27.3	3	27.3	4	36.4	0	-	0	-	1	9.1
	不動産業	19	9	47.4	7	36.8	2	10.5	6	31.6	5	26.3	1	5.3	2	10.5	2	10.5	0	-	3	15.8